



都市生活

生活クラブ生活協同組合都市生活■理事会 (〒651-1421)西宮市山口町上山口上芦原 78-2 TEL(078)904-3260

- 1 消費材の安全性の追求
- 2 食の自給力を高める
- 3 有害物質の削減
- 4 自然資源の持続可能な使用
- 5 ごみの削減とリユース
- 6 エネルギーの削減
- 7 リスクの低減
- 8 情報の開示
- 9 自主管理と監査
- 10 おおぜいの参加



Vol.261

2016年1月18日発行

みんなで利用して サステイナブル(持続可能)な暮らしを 次世代にも…



私たち生活クラブの目的は、自分たちの生活をみんなでもっとよくしていくこと。自分たちの生活に必要なものを、生産者といっしょに作りだし、それを「消費材」と呼んでいます。そして、おおぜいが消費材を「利用」することで、安心して作り続け、使い続けることができる暮らしを目指しています。サステイナブル(持続可能)な暮らしを次世代につなげるためにはおおぜいで利用すること=「利用結集」が大切です。

作り続け、食べ続けるために 大切な利用結集

例えば「牛乳」は、子どもの成長にも欠かせないカルシウムも豊富に含んだ栄養バランスに優れた食材ですが、生活クラブの牛乳は、生産者とともに作り上げてきたこだわりの牛乳です。非遺伝子組み換えのエサで、環境にも配慮し健康に育てられた牛から搾乳され、パスチャライズド殺菌(72℃15秒間殺菌)されています。それに価格は生産原価保障方式(※)で決定され、同様のエサや飼い方で生産された市販牛乳と比べると利用がしやすくなっています。



でも、私たちの利用が少ないと、質が高く、安定した価格での生産を続けることができなくなります。そこで、おおぜいで利用すること=「利用結集」が必要なのです。

※生産者が生産方法、容器、包材、保管方法や配達手段、コストなど、すべての情報を公開し、組合員と話し合いの上、生産原価にしたがって価格を決定するやり方

「利用結集」することで…

都市生活の要望していた『ノンホモパスチャライズド牛乳』、脂肪分を気にされる方の要望に応え、取り出した脂肪分でバターを作ること

のできる『低脂肪牛乳』や、豚肉の冷蔵供給は、おおぜいで利用することで実現し、利用しやすくなりました。

それから、関西の生活クラブ6単協で取り組んでいる竜おうみ米。今年度、利用が増えましたが、農業をほとんど使用せずには作られているので、関西の水がめである琵琶湖の水環境の保全にも貢献しているといえます。



安全で美味しい国産食材を中心に作られた消費材をおおぜいで利用することは、安心な食品を作り続け、食べ続けるために大切なことはもちろんですが、日本の農業、漁業、畜産業、さらには自然環境を支えることにもつながっているのですね。

私たちは全員、 生活クラブ生活協同組合都市生活 という生協の組合員です。



生協とは

生協（＝生活協同組合）は、暮らしの「願い」を実現するために消費者一人ひとりが協力して作り、運営している組織です。最初の生協は1844年、イギリスで工場労働者たちが設立した「ロッチデール公正開拓組合」です。協同することで、大きな利益より正直で公正な取引を大切に、産業革命期の苦しい生活を変えました。その精神が現在も生協の基本です。日本では、1960年代末から1970年代にかけて、高度経済成長のひずみから起きていた暮らしをめぐる不安を自分たちの力で安心に変えようと、安全な食べ物の共同購入を目的とした「市民生協」が設立されました。

生協は組合員の「出資（共同所有者になる）」・「利用（事業を利用する）」・「運営（運営に対して意見を言う）」で成り立っています。このことが、営利を第一の目的とする一般企業とは大きく違うところです。



尼崎支部のつどい（2015年3月）

「願い」の実現をめざして

生活クラブ生活協同組合都市生活は、組合員みんなで消費材を共同購入しながら、社会の問題に取り組むことで「食の安心、安全」「環境の安心、安全」を実現してきました。個人配達の組合員が多くなった今、「困ったときに助け合える暮らしの安心、安全」というもう一つの「願い」の実現をめざしています。

「願い」を実現するために大切なことは、人任せにしないこと。私たち一人ひとりが「自ら考え、行動する私」であることです。

身近なところで組合員活動

「活動」といっても特別なことではなく、組合員の願いを実現するために、一緒に考えたり行動したりする仲間を増やすことを大切にしています。そのために、より多くの組合員が身近なところで活動できるよう、東の尼崎から西の姫路までの配達エリアを10の支部に分け、それぞれの支部で組合員が自主的に活発に活動しています。

今年度、暮らしの安心、安全を実現するために準備をすすめている「エコロたすけあい制度」も、組合員どうしが直接たすけあう（＝行動する）仲間が増えるしくみです。

*都市生活のエコロ共済制度の名称を「エコロたすけあい制度」とします。

一緒に支部の運営を考えましょう！

3月上旬、支部の総代会「支部のつどい」を開催します。代議員が支部の活動、運営について話し合い、支部の活動方針を決定します。決定した活動方針に基づいて、クリエイターと呼ばれる組合員が支部の運営を行います。その費用は支部の組合員が出し合う支部活動費で賄われます。支部の活動や運営を人任せにせず、代議員になって一緒に考えましょう。組合員なら誰でも所属する支部の代議員になれます。詳しくは支部機関紙で確認できます。



東神戸支部で食育セミナー&ランチ（2015年12月）

都市生活 Bioサポーター日記

今年度結成のBioサポチームが、毎月Bioサポアイデアをお伝えします。



11月14日(土)淡路島の「愛農会」仲山さんのみかん山で、みかん狩りを行いました。前日は荒れ模様で当日の朝も小雨が降り、開催が危ぶまれましたが、淡路島に到着すると雨は上がっていて、気持ち

の良いお天気。参加者は約60名。天候のせいで諦めた方もいた中、赤ちゃんや小さいお子さん連れの方も、参加された皆さん、開催出来たことを喜んでいました。

今年は豊作だそうで、数えきれないほどのみかんの木にはどれもびっしりとみかんがなっていました。説明の後、はさみとネットを持ち、収穫体験。その場で食べたみかんは、とてもみずみずしく、一層甘く感じられました。約一時間、大人も子どもも夢中になって収穫しました。

みかん狩りの後は、地域交流センターに移動し、後継者である森本さんの娘婿さん、柏尾さんの息子さんも交えて愛農会の方々と交流会。野菜や果物作りのご苦労を聞いたり、私たちからもメッセージを伝えたりと、有意義なひと時となりました。

その後は、武田さんの畑見学。植え替える前の玉ねぎの苗床や、これから葉が巻いていくというキャベツなど、初めて見る野菜の姿に驚きでした。虫が付いた物も、「これでもちゃんと成長するのよ。」と、武田さんが虫を振り落としながらおっしゃっていました。



玉ねぎの苗床

契約野菜「畑の便り」登録者限定企画

愛農会でみかん狩り

本当にご苦労の多い、愛農会の皆さんの野菜作り。たくさんの方が『畑の便り』を登録して応援していくことが大切だと実感する一日になりました。



武田さんのキャベツ畑で。説明しているのは森本さん。

Bioサポメモ

愛農会とは？

南あわじ市北阿万の生産者、森本さん、仲山さん、武田さん、武岡さん、高田さん、柏尾さんの6名です。40年近く前、都市生活の前身である西宮共同購入会から、化学肥料も農薬も使わずに野菜を作って欲しいと依頼し、今まで産直の関係が続いています。



契約野菜「畑の便り」は一度登録すれば毎週届く、無農薬・無化学肥料で育てた地元の野菜のセットです。登録は同時配布の申込書で、または職員・センターにお申し出ください。

これいい♪クラブに参加しよう！

組合員のためのコミュニティサイト。料理レシピや省エネのコツなど、毎日をもっと楽しくするアイデアが満載！
<http://koreii.jp>



白菜の塩麹漬け

～畑の便りのレシピから～

[主な材料と作り方]

- ① 白菜の柔らかいところ(中心)500gを水洗いし、水を切ってから1cmに切り、フリーザーバッグに入れる。
- ② 塩麹、大さじ7杯を入れ、袋を振って塩麹をまんべんなく混ぜてから袋の空気を抜いてジッパーを閉める。
- ③ しばらく置いて、しんなりしてきたら台の上でごろごろと揉むようにする。
- ④ 一晚漬け込んだら水気を絞って、好みで鰹節としょう油をかけて食べる。

愛農会の白菜で作りました！

レシピ ●● 都市生活



広木克行氏による子育て支援講演会

子どもの心がわからない

～不登校・引きこもりの専門家に聞く～



昨年、一昨年に引き続き今年も、12月4日(金)神戸市勤労会館に神戸大学名誉教授の広木克行氏をお招きしました。あいにくの寒風の中、幅広い世代の80名を超える参加者で会場はほぼ満席に。お話の一部を紹介します。

子どもたちに何がおこっているのか？

- ❖ 不登校者数と同じくらいいじめ被害者数があるが、県の指示によるいじめの調査は記名式のため、表面化しにくい。生徒の発するSOSに気付けないのは、今の教師の多忙さの現れ。専門家の話に耳を傾けようとする行政の問題でもある。
- ❖ 人間性や人格の育ち等、点数化できない「見えない学力」より、数値化できる「見える学力」ばかりが偏重されている。
- ❖ 佐世保事件や名古屋大生事件、伊勢市女子高生囑託殺人事件等、「動機がない」「人間をロボット視する解体願望」「成人拒否」等新しい問題も起きている。
- ❖ 今まで高齢者の問題だった「ロコモ」(※)が、今は子どもの問題に。外遊びが減り、ゲームが増え、便利な生活が、日常生活に必要な機能を低下させている。

※ロコモティブ・シンドローム (運動器症候群)

子どもの本質はかわっていない

- ❖ 親の期待が独り歩きする先回りの愛は自己愛の延長でしかなく、子どもを追い詰める。子どもの想いはどうなのか？親の善意が身勝手な押し付けになっていないか？「子どものため」は本当に「子どものため」なのか？考え直す勇気が必要。親の想いと子どもの想いは違うことに気づき、支えていくことが大事。
- ❖ 親だから間違える。子どもと出逢い直しをし、親がどうあるべきかを考え直す。親が変わると子どもも変わる。共感しながら諦めずに話を聞く。
- ❖ 自分がやろうと思った時から学力はついてくる。能力の育ち直しに努力は必要だが不可能ではない。人格は後付けにはならないから、人の道を外れない人格形成が必要。育ち直しの強い子は、絵本の読み聞かせ経験者。絵本の読み聞かせは、親と子共通感情のベースになり、成長後の学力に必要な「聴く力」をつける。一番下の子が9歳になるまで読み聞かせを。

子どもはぬくもりを求めていると、広木さんは仰いました。未来に向かって開かれた子どもの心を支える人になりたい。「焦らず。マイペース。」と心に刻んだ方も多かったでしょう。広木さんの子育て支援講演会は来年も計画しています。

知れば納得！

生活クラブ共済 ハグくみ ②8

共済 冬のキャンペーン

生活クラブ共済「ハグくみ」は、私たちが安心して暮らすために必要な共済として誕生しました。

生活クラブの組合員が組合員のために作ったオリジナルの共済です。1人ではできないことも、たくさんの力を集めることでできることがあります。1人1,000円/月の掛け金でケガや入院時に保障があるのは安心ですね。

1月25日～2月26日までは「共済冬のキャンペーン」期間です。配達時、または電話でも職員に気軽に共済のことを聞いてみてください。また昨年、大好評だった「ろっこう医療生協」のドクター、スポーツトレーナーによる講座を今年も「共済キャンペーン企画」として開催します。詳しくは企画案内をご覧ください。



サステイナブルな暮らし

簡単！ラベルはがし



ラベルをはがして回収に出すRびん。ダントツではがれにくいといわれるのがマヨネーズびんです。「これいい♪クラブ」に載っている簡単にはがせるコツを2つ、お伝えしますね。

その① 新品のプラスチックフィルムをはがしたら、さらに紙のラベルをゆっくりはがす。賞味期限の部分は切り取って、フタに貼っておきましょう。

その② 洗って乾かしたマヨネーズびんに熱い湯を注いで、20秒ほど置き、端からゆっくりはがす。湯が熱いので、やけどに注意しましょう。

マヨネーズびんのラベルの糊は、熱で柔らかくなるそうです。また、濡れているときれいにはがせないで、乾いた状態で剥がすことが共通のコツです。はがれなくても無理しない！そのままでもいいので、必ず配達時に返してくださいね。



ビギナーズカフェに行こう



1~2月の14000人のほっとコミュニケーションはビギナーズカフェ。

開催予定・参加申し込みのチラシは見てもらいましたか？どんな企画が紹介します。

◆ ビギナーズカフェって？

新しく加入した組合員に、生活クラブの消費材やそのこだわりを知ってもらおうという企画です。カタログの見方など、何か困ったことはありませんか？ ビギナーズカフェに参加して、日々の疑問を解決しちゃいましょう。

◆ ビギナーズだけが対象なの？

いえいえ、この企画に興味があるの、という先輩組合員も大歓迎！ お気に入りや便利な利用法など、ビギナーズに教えてあげましょう。わいわい話をする中で新しい発見があります。

◆ お友だちを誘ってね

組合員でないお友だちも参加できます。ママ友、習い事のお友だち、近所に引っ越して来られた人などに、気軽に声をかけてみてください。以前に組合員だった人にも、個配システム料が値下げになったことや、ほとんどが翌週配達になったりカタログへの原材料表示が始まったりして、とっても便利に変わったことを教えてあげましょう。

◆ モニット募集も

生活クラブは組合員が活発に活動している生協です。その活動がこだわりの消費材や、より良い暮らしの実現につながっています。そんな生活クラブをもっとよく知って、おいに利用してい

くためには、登録制の「モニット」になるのが近道。月1回の「支部ミーティング」に参加して、消費材や食にまつわる学習（国内自給力、遺伝子組み換え、食品添加物など）や、試食もします。ビギナーズカフェの当日、受付します。

◆ 登録するならこの機会に

農業や畜産業の生産者の高齢化が社会問題になっている現代にあって、生活クラブの生産者の中には、しっかり後継者が育っています。なぜでしょう？それは私たちが安定して食べ続けているから、安心して次世代へと引き継げるのです。私たちの食が生産者に支えられているのと同時に、生産者の生活を支えていくのも私たちです。

ビギナーズカフェの会場で、契約野菜セット「畑の便り」、豚肉セット、米のいずれかを登録すると、プレゼントがもらえます。注文忘れの心配がなく、値段がお得になるものもあり、生産者を継続的に応援することもできますよ。

◆ 詳しくは1月11日～配布のチラシを！

ランチやスイーツを作って食べたり、生産者と交流したりと、楽しい企画がいろいろあります。この日空いてる！と思ったら、さあ申込み。安心安全な食や、環境に優しい暮らしなどに興味がある仲間どうし、楽しい時間を過ごしましょう。

待ってま〜す！



NONちゃんのGM（遺伝子組み換え）講座

カタログに市販と同じビールが載っているワケ



組合員から「なぜ市販と同じビールを扱っているの？」と尋ねられることがあります。

ビール、発泡酒、清涼飲料などにはトウモロコシ由来の原材料「スターチ（コーンスターチ）」が使われることがあります。それが

遺伝子組み換え(GM)ならば飲みたくないという消費者が多数なのを意識して、日本の大手ビール会社は非遺伝子組み換え(non-GM)トウモロコシを使用し、その市場を支えてきました。

ところが近年、発泡酒や清涼飲料などにはGM由来のものを使うようになってきました。2014年の市民団体によるビール会社4社にあてた公開質問状では「GMに切り替えるかどうかは検討中」

：「決まっていない」など、各社とも明確な回答がありませんでした。生活クラブではこの状況に不安を覚え、2015年2月、生活クラブ都市生活を含め、全国の組合員のべ285人がビール・飲料会社の消費者窓口に電話をかけ、GM由来原材料の聞き取り調査をしました。聞き取りだけでなく、non-GMの原材料を使い続けてほしいという気持ちを伝えました。幸い、各社ともビールにはGMトウモロコシを使用していないことが確認できました。しかし、発泡酒や清涼飲料などについて明確な返答はありませんでした。

生活クラブはGM由来の原材料を使わないビールを取扱い、利用することで、消費者がGM由来のビールを望んでいないことを示しています。

生活クラブ都市生活では、10の支部を作り、自分たちの身近なエリアで多彩な組合員活動をしています。

西神戸支部

人とのつながりから生まれる支部活動

西神戸支部では今年度、淡路島への生産者訪問、「せっけんクラブ」を招いてのシャボン玉セミナー、組合員が講師のフラダンス体験教室・クリスマスリース作り、食育プロジェクトとコラボしたクリスマス「おうちでごはん」など、人とのつながりから生まれる支部活動が盛り上がっています。

人とつながることは、組合員活動の基本だと、あらためて感じています。これからも、5人のクリエイターと理事で知恵を出し合い、人の輪が広がる支部活動を続けていきたいと思っています。

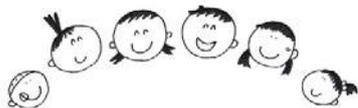
(西神戸支部クリエイター 小山奈緒美)

10月に行った遺伝子組み換え作物と原発の問題点を取り上げたドキュメンタリー映画「世界が食べられなくなる日」の上映会は、東神戸支部主催の上映会に参加したクリエイターが衝撃を受けたことがきっかけで、西神戸支部のエリア内でも大勢の人に見てほしいと、東神戸支部の皆さんの協力で実現しました。

当日は子育て中の母親から、ベテラン組合員まで幅広い世代が参加。上映後のカフェタイムで「ラットの実験結果が怖かった」「数年前ハワイで GMO 反対の方たちを見たことがある」「支部企画に久々に参加してよかった。孫世代のことが気がかり」など様々な感想をいただきました。



「世界が食べられなくなる日」上映後のカフェタイムの様子



今月の組合員

鈴木 智子さん 宝塚支部 2004年3月加入

仕事を辞めて時間ができたので、10月11日は都市生活の色々な企画に参加しました。みかん狩り、チラシ配り、お片付け講座への参加、そして野菜の援農グループ「畑クラブ」で畑の草取り。

都市生活に入って12年ほど経ちますが、以前から、無農薬で野菜を作ってくれている生産者にお礼を言いたいと思っていました。淡路の愛農会でのみかん狩りでは、日頃の感謝を伝えられ、畑の見学を通じて改めて無農薬栽培の大変さと昨今の気候変動への対応の難しさを実感させられました。また、今年できた援農グループ「畑クラブ」に入り、神戸市西区の愛菜会メンバーの畑の草取りに行きました。お役に立てるのは嬉しく、運動不足解消にもなります。これからも、作る側を支え、顔が見える関係でありたいと思います。

メルマガ都市生活より

私のおススメ消費材

毎週日曜日、購読登録した組合員に「メルマガ都市生活」を配信しています。その週に注文メ切になるカタログの消費材について、実際に利用している組合員が案内しています。

無料購読申し込みはウェブサイトの「メルマガ購読」から申込むか、お手持ちの紙にお名前、組合員コード、メールアドレス、「メルマガ希望」と書いて、配達職員に渡してください。

==こんなふうに消費材を紹介(10月11日配信号より)==

▼△▼△▼△ イチオシ消費材 ▼△▼△▼△

注文番号*** 麻婆豆腐ソース・中辛(2袋) 365円(税込394円)

コーミ(株)より

ひき肉と豆腐さえあれば、あっという間に本格的な味の麻婆豆腐ができあがります。中辛ですが小学生の娘も大丈夫でした。主人も味には大満足。家でお味噌やコチュジャンを混ぜて作ることもできるけれど、忙しい日にこんな便利なものはない!とストック棚に常備しています。

つれづれとしせいかつ 徒然都市生活

生活クラブ都市生活の仲間が書くエッセー

大人のリフレッシュツアー 冬の神戸へようこそ！

生活クラブふくしまの組合員の方たちをお招きして、12月5日(土)～6日(日)の日程で「大人版 冬の神戸リフレッシュツアー ルミナリエから希望の祈りを」を開催しました。一泊二日の小旅行ですが、福島での生活からひととき解放されて、リフレッシュできたようでした。

福島では原発事故後5年を迎えても、まだまだ放射能汚染が完全に拭かれたわけではありません。そこで生活している不安を地元では口に出せなくても、生活クラブの組合員の中では安心して会話されているのをお聞きして、このツアーを企画して良かったと感じました。

神戸ルミナリエ会場では、開催2日目だったこともあって長蛇の列でした。ルミナリエが阪神・淡路大震災犠牲者の鎮魂、都市の復興・再生を託して始まったことを説明し、参加者の方とともにイルミネーションの光に福島の復興を願いました。



神戸南京町の入口、長安門で

短い期間でしたが、「今回初めて家族を置いて1人で出てきた。心配だったけど神戸まで来ることができ、送り出してくれた家族に感謝したい。」とか「帰るとすぐに放射能汚染の訴訟が待っている。でも今回リフレッシュできたので、また頑張れる。」などそれぞれの想いを胸に、新神戸駅を後にされました。

(都市生活コミュニティセンター理事長 林 佳子)

*この企画は、生活クラブ都市生活、エスコープ大阪、都市生活コミュニティセンターで構成する「東日本大震災支援プロジェクト」の取り組みで、両生協の組合員の活動カンパを使った支援活動です。

理事会報告

2015年度第7回理事会報告 2015.11.30.10:00-16:30 於本部センター組合員室 (報告承認3項目、協議決定事項5項目 省略)

1. 都市生活・エスコープ大阪の卵の取り組みについて、新見ポーター・後藤ふ卵場と生活クラブ関西の協議状況と今後について報告し、協議した。
2. 年始1週号・2週号の年内同時回収にともなう利用対策の一つとして、「お年玉プレゼント」企画の実施を確認した。「休まず、利用すること」を呼びかけていく。
3. 福岡自然農園の「ミカンバエ」拡散防止のための摘果・伐採に対して、現地訪問・作業手伝いと組合員カンパ取り組みの実施を決定した。
4. 冬季賞与の支給決定。業績反映として予算月数に0.25ヶ月の増額支給を行うことを決めた。
5. 豆匠・相沢食産の4月以降の取り組みの仕方について基本となる事項を決定した。
6. 生協祭「あいたくて都市生活」実行委員会でのまとめを確認した。
7. 牛乳定期登録を上げるため、6週企画にあわせた取り組みを確認した。
8. 来年度の支部テーマ消費材を決めての利用結集活動について、提案を確認した。

(諸会議報告)

連合理事会、各委員会の報告及び各担当理事会の報告を共有した。

(事業報告)

10月決算報告を受けた。10月供給高は予算比97.2%、経費は予算比97.2%とともに下回った。供給剰余率が予算を上回ったことから、経常剰余は計画を26万円上回った。10月加入は125名で計画同数。脱退は86名で計画より16名多い。



Q 「生活と自治」という雑誌を見ました。これはなんですか？

A なんだか固い名前ですが、これは生活クラブ連合会が発行する生活クラブの情報誌です。といっても、生活クラブの考えを伝えるための機関紙ではなく、生活者の視点で、暮らしを取り巻く様々な問題を取り上げ、「自ら考え、行動する」ための素材や情報を手にするための情報誌です。

難しい記事ばかりが並んでいるわけではありません。田口ランディさんや枝元なほみさんの連載や元宇宙飛行士の秋山豊寛さんのエッセイもあるし、イラストクイズや投稿欄などの息の抜ける記事も。もちろん生活クラブらしい、健康食品や原発、社会の問題をすどく考察する記事も満載です。

こんな中身の濃い雑誌が、毎月1部100円で読むことができます。定期購読はいつでも受け付けています。配達職員に声をかけてください。

「定期予約」してありますか？

「定期予約」とは、毎週注文するのではなく、一度「定期予約」すると自動的に届く仕組みです。

「定期予約」するということは、生産者に約束して利用するということ。

生産者は計画的に生産することができ、私たちは、安心して利用できます。

どんな消費材が「定期予約」できるの？

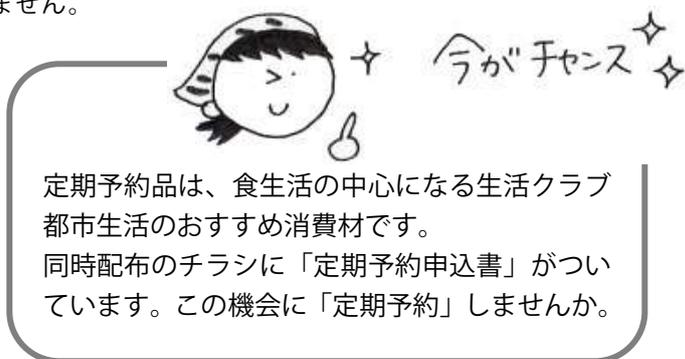
毎週必要な牛乳や卵、豆腐、納豆、食パンなどや、隔週や4週に1回届くお米、豚肉スライスセット、バナナなど、生活に合わせて「定期予約」することで、計画的に消費できます。「定期予約」するとカタログで注文するより価格が安くなるものもあります。上手に利用しましょう。



どれくらいの人が利用しているの？

定期予約率が一番高いのは、牛乳。牛乳を利用する組合員の約9割にあたる4000人弱が定期予約で利用しています。次いで、卵の約7割、3400人ほど。『畑の便り』（契約野菜）は、ファミリーセット、ミニセットあわせて週に約900人が利用しています。

「定期予約」すると注文の手間が省けるし、注文忘れがありません。



定期予約品は、食生活の中心になる生活クラブ都市生活のおすすめ消費材です。

同時配布のチラシに「定期予約申込書」がついています。この機会に「定期予約」しませんか。

配達こぼれ話

本部センター長
丹治 耕造

生活クラブ都市生活の職員が、配達業務を通して見たもの、聞いたことをお伝えします。

事故 間一髪

生協の配送には欠かせない車両運転。15年ほど前、配達交替で神戸市内に向け表六甲ドライブウェイの長い下り坂の途中での出来事です。トンネル通過後、青空と遥か眼下に広がる大阪湾、高層住宅群を眺めながらワインディングロードを軽快に下った先、信号が変わり停車しました。住宅街、歩行者も多く、前の横断歩道を母親と幼児が元気に渡っています。ふとサイドミラーを見ると後続車数台の先からトラックがスピードを落とさずに近づいている「もしかして……!!」と考える間もなく、後方から「ドーン」と衝撃音。瞬時にシートに深く体を預け、両足に力が、数メートル先には母子、ハンドルで回避できるか、コンマ何秒頭を駆け巡るとともに、鈍い追突音、車体が前に押し出された。間一髪、横断歩道まで出ていない、「良かった」。私を先頭に5台を巻き込んだ玉突き追突事故は、幸い皆ケガで済んだようです。

しかしボーっとして、ブレーキも甘めだったら…被害事故とは言え私が人身事故の当事者になったかもしれません。安全運転はすべてに優先する生協の業務です。下り坂、エンジンブレーキと出来る限りの周囲の把握、教訓がひとつ加わりました。

機関紙モニターの



12月号より

「エネルギーについて考えよう」

2016年度から電力の小売りが完全自由化されることで、再生可能エネルギーを自分で選択できるということがわかりました。選択できるということは、脱原発への意思を表示できることだと思いました。この記事に自治という言葉が使われていて、『自分たちのことを自分たちで処理していく』と注釈がありました。生活クラブのエネルギーに対するとりくみとその基となる考え方がよくわかりました。(西宮 吉重恵子)

編集雑感

「光陰矢のごとし」と言います

が、一年が過ぎるのがだんだん早く感じるようになって、久しいです。3歳の子の1年は人生の1/3、60歳の人にとってはわずか1/60。早く感じるのも当然ですね。生協都市生活の時に加入して25年が経ちました。昔は自分や家族の暮らしだけだったのに、今は生協で食べもの、環境や社会の問題に触れて、考え、行動することが多くなりました。物事深く考えず、ノホホンと暮らしても一年は過ぎます。でもそれはもったいないと思いませんか？目の前にあるチャンスをものにして、充実した一年を過ごしたいものです。そうそう、今、各支部でモニットを募集しています。モニットになるのもチャンスの一つ。充実した毎日を送ってみませんか？(T)